

令和 5 年度 上半期（４月～９月）
年間（４月～翌年３月） の管理運営状況

1. 施設の基本情報			
施設名称 (愛称)	栗東市障がい児地域活動施設		
所在地	滋賀県栗東市高野568番地 4		
電話	077-554-1165	ファックス	077-554-1165
ホームページ	http://www.cyogenki.com/		
設置年月日	38169	施設分類	社会福祉施設
設置目的	障害のある児童の健全な育成を図ることを目的として、放課後、地域において他の児童や住民との関わりの中で社会的な経験を積ませるとともに、療育により規則正しい生活習慣を維持させる事業を実施すること	敷地面積	m ²
		建築延面積	m ²
		構造	
		施設概要	
開館時間	○月曜日～金曜日・学校終了時から17：00まで ○学校休業日（土曜日・長期休暇）・10時～16時（休日）		
休館日	日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）		
利用料金	児童福祉法第21条の5の3第2項第2号に規定する額		

2. 指定管理の状況について			
指定管理者名	特定非営利活動法人 チョー栗東元氣玉クラブ		
指定期間	4/1/2022 ～ 3/31/2027 (5年間)		
管理体制	常勤職員 2 人 非常勤職員 6 人 計 8 人		
業務内容	- 施設の運営に関する業務 - 施設の入所の承諾及び施設の利用料の徴収に関する業務、施設の維持管理に関する業務 - 施設及び設備の保守点検に関する業務 - 事業計画及び収支予算書、事業報告の作成 - 施設の環境マネジメントシステムの運営における必要な記録(法定点検、施設点検等)の報告		

3. 施設の利用状況について（モニタリング時点）

(1) 利用人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	107	97	125	108	79	101	91	107	103	91	104	134	1,247
R5	108	109	119	107	103	122	109	118	116	109	117	131	1,368
R6													0
R7													0
R8													0

(2) 施設利用料収入

単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	50	66	64	58	67	75	63	63	60	62	74	62	764
R5	78	65	67	84	81	73	69	73	81	62	65	73	871
R6													0
R7													0
R8													0

※ 千円未満四捨五入

※ 施設利用料収入は、条例に基づき金額を徴収しているものを指す。

【施設の利用状況やサービスの質向上に向けた取り組みに関する所見】

指定管理者の 所見	新規の利用児がなかなか増えない状況にあり、広報誌での活動紹介、市内小学校へのパンフレット配布を行いました。 年度途中で、新たに3名の利用児さんが増えました。 職員体制が整わず、土曜日を閉所していましたが人員配置の解釈の変更があり、9月より土曜日の営業を再開しました。 また、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことで、いろいろな制限も緩和され行動の幅が広がり 親子交流会を開催することが出来ました。 置き去り防止装置を送迎車に設置。
所管課の 所見	利用状況について、少しずつ新規の利用が増えているが、体調不良等で予定よりも利用人数が少なくなる月もあった。新規利用児については、広報やパンフレット配布、看板作成など積極的にPR活動を行っており、最近では発達支援課やこども家庭センターからの相談が増えています。今後も事業所の特色を生かしたPR活動をより充実させる必要があります。 放課後等デイサービス事業所としての評価のため、保護者より18項目にわたるアンケート調査を実施しており、環境や体制整備、適切な支援の実施など、概ね良好であるとの回答を得ています。

4. 収入・支出状況（モニタリング時点）

(1) 指定管理者の収入

単位：千円

	指定管理料	施設利用料	事業収入	自主事業収入	その他収入	合計
R4	0	764	11,500		1,003	13,267
R5	0	871	12,726		66	13,663

R6						0
R7						0
R8						0

※ 千円未満四捨五入

(2) 指定管理者の支出

単位：千円

	人件費	管理運営費	企画事業費	自主事業費	その他経費	合計
R4	11,880	2,208				14,088
R5	11,350	2,272				13,622
R6						
R7						
R8						

※ 千円未満四捨五入

【収入・支出状況に関する所見】

指定管理者の 所見	利用児の減少、土曜日の閉所による減収がありましたが徐々に回復傾向にあります。
所管課の 所見	収入については、利用状況に影響されています。夏、冬などの季節的に厳しい時期やインフルエンザ、新型コロナなどの感染症の流行などにより欠席する児童生徒も多く、予定より減収となっています。新規利用や利用回数の増加に向けての働きかけの結果、少しずつ回復しています。収支のバランスについては、令和6年度は収入増の見込であるため、状況は良くなっていますが、引き続き不安定な要素もあるため、できる限り支出を抑えられるよう工夫が必要と考えます。

5. チェック項目

【評価基準について】

A	優良	仕様書、協定書、事業計画書等を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
B	良好	仕様書、協定書、事業計画書等を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
C	課題含	仕様書、協定書、事業計画書等を <u>遵守しているが</u> 、その水準を満たしていないものもあり、一部に課題がある。
D	要改善	仕様書、協定書、事業計画書等を <u>遵守しておらず</u> 、その水準を満たしていないことから、改善の必要がある。

確認資料等	チェック事項	自己 評価	所管課 評価	所管課の 確認方法	補足・コメント
-------	--------	----------	-----------	--------------	---------

法令等遵守	協定書、仕様書、関係法令等、実地調査等	施設の設置管理条例、規則、協定書、仕様書のほか、関係法令等を遵守しているか。	B	A	書類	
		市との協議、通知、各種報告は、協定書通りなされているか。特に、協議・承認なく処理されているものはないか。	B	A	書類	
個人情報・情報公開	協定書、仕様書、ホームページ、実地調査等	個人情報保護に関する規程が整備されているか。	B	A	書類	
		個人情報の漏えい、滅失、改ざんの防止等、適正な管理のために必要な措置（物理的・技術的）が講じられているか。	B	B	ヒアリング	
		施設の必要情報等が、ホームページ等で適正に公開されているか。	B	B	ヒアリング	
人員体制	協定書、仕様書、日報、事業計画書、事業報告書、研修資料、勤務表、資格表、就業規則、実地調査等	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置しているか。	B	B	書類	
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。	B	B	書類	
		計画的に研修・教育を実施しているか。	B	B	書類	
		勤務形態等の労働条件が適正であるか。	B	B	ヒアリング	
外部委託	協定書、仕様書、事業報告書、委託契約書、実地調査等	外部委託業務について、実施状況を把握し、適切に管理を行っているか。		A	書類	指：外部委託は行っていない 市：機械警備を外部委託している
		外部委託事業者に対して、協定書等を順守させているか。		A	書類	
		外部委託業務は、適正な水準、内容で実施されているか。		A	書類	
管理記録	日報、点検結果等関係書類、実地調査等	業務日誌等を適切に整備、保管しているか。	B	B	ヒアリング	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されているか。	B	B	ヒアリング	
連絡体制	協定書、仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類等	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	B	B	ヒアリング	
		事業計画書、収支予算書が適正に作成され、期限内に提出されているか。	B	B	書類	
		毎月、業務報告書が適正に作成され、期限内に提出されているか。	B	A	書類	
		年度終了後、事業報告書が適正に作成され、期限内に提出されているか。	B	A	書類	
	確認資料等	チェック事項	自己評価	所管課評価	所管課の確認方法	補足・コメント
緊急対応	仕様書、協定書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル等	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか。	B	B	ヒアリング	自己評価表で確認
		緊急事態発生時のマニュアルが整備されているか。	B	B	ヒアリング	
		事故等が発生された場合、直ちに市に報告がされているか。	B	B	ヒアリング	
受付業務	利用申請書・減免申請書等関係書類、業務マニュアル、実地調査等	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っているか。	B	B	ヒアリング	
		使用料は適正に徴収されているか。	B	B	ヒアリング	
		使用料の免除は適正に処理されているか。	B	B	ヒアリング	

等		服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であるか。	B	B	ヒアリング	
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供したか。	B	A	ヒアリング	
要望・苦情等	業務マニュアル、事業計画書、事業報告書、日報、アンケート等	要望・苦情・トラブル等に対し、適切、迅速に対応しているか。また、市への報告がされているか。	B	B	ヒアリング	
		要望・苦情・トラブル等は、記録として整備・保管されているか。	B	B	ヒアリング	
		苦情やトラブル等が発生した際の対応マニュアルを作成しているか。	B	B	ヒアリング	
施設・設備管理	仕様書、協定書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査等	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	B	A	書類	指定管理料0円のため「指定管理料で購入された備品」は無し
		協定書に基づく保険には適正に加入しているか。	B	B	ヒアリング	
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じているか。	B	A	ヒアリング	
		施設の点検・保守は確実に行われているか。	B	B	ヒアリング	
		清掃業務は確実に行われているか。	B	A	実地調査	
		異常・不具合を発見した場合、速やかに市に報告をしているか。	B	B	ヒアリング	
		修繕工事は適正に行われているか。	B	B	書類	
		備品台帳に基づき備品が管理、修繕されているか。	B	A	実地調査	
		指定管理料で購入された備品について、市に報告がされているか。				
		植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれているか。				
自主事業	仕様書、協定書、自主事業計画書・報告書、実地調査等	市に事業計画書は提出されているか。				該当なし
		施設の設置目的に沿った事業内容であるか。				
		自主事業に係る収支会計経理は適正になされているか。				
	確認資料等	チェック事項	自己評価	所管課評価	所管課の確認方法	補足・コメント
収支等	預金通帳、出納帳、事業計画書、事業報告書、実地調査等	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態にあるか。	B	B	書類	予算通りの収入は見込めず物価の上昇の影響もありプラス決算にはなりませんでした
		経理区分を設け、指定管理料を適正に執行しているか。				
		予算と決算に大幅な相違がなく、『収入－支出』はプラスとなっているか。	C	C	書類	
		経費削減の取り組みを積極的に実施し、その効果が上がっているか。	B	B	書類	
利用促進	パンフレット・ホームページ、実地調査等	パンフレット、施設案内表示板等は整備されているか。	B	A	実地調査	
		ホームページは見やすく作成され、随時更新されているか。	B	B	実地調査	
ニーズ調	事業計画書、アンケート、実地調査等	利用者に対してアンケート調査等を実施し、ニーズ等の把握を行っているか。	B	B	その他	自己評価表で確認
		アンケート調査等の結果を踏まえて、指定管理業務の改善を行っているか。	B	B	その他	

査		アンケート調査等の結果について、市に報告を行っているか。	B	A	書類	
評価	事業計画書、事業報告書 等	外部評価を年1回実施しているか。また、評価結果は公表されているか。				外部評価は行っていません
環境	事業計画書、事業報告書、自治調査 等	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいるか。	B	B	書類	
その他	仕様書、協定書、事業計画書、事業報告書、業務マニュアル、実地調査 等	施設の管理運営にあたっては、SDGsの考え方を積極的に取り入れているか。	B	B	書類	
		障がいがあることを理由とした差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供その他障がい者への適切な対応を行い、障がい者福祉の推進に努めているか。	B	B	ヒアリング	
		提案事項である〇〇〇〇の取組を推進したか。				

➡ 所管課の評価が「C」「D」の項目については、調査票（2）を記入すること。

【チェック項目に関する所見（課題・改善点、その他特記事項）】

指定管理者の 所見	利用児を増やすことが増収につながるので、広報や営業を続けています。 令和6年度からは利用児の増加があり、赤字決算は解消される見込みです。
所管課の 所見	保護者会や保護者も一緒に参加できるイベントを継続して開催するなど、保護者も含めた支援について検討をしてほしいと考えています。緊急時対応マニュアルなどについては、策定は行っても周知が不十分であることから、誰でもが確認できるところに設置するなどの工夫が必要です。

6. 自主事業			
	事業名	事業概要	補足等
主な自主事業の実施状況			

【自主事業に関する所見】

指定管理者の 所見	
--------------	--

所管課の 所見	

7. 利用者ニーズの把握	
手法	保護者面談時やアンケートなど
実施時期	年間を通して
調査結果	就労されている保護者が増え、送迎時間の希望をされます。 年齢や学校が違う子どもたちが通う集団の中で、それぞれが色々な思いを持ちながら人との関わりを学んで成長して欲しいと望んでおられます。 ひとつでも自分で出来ることを増やして欲しい、家庭では出来ない体験をして欲しいというのが多くの保護者の希望です。

8. 研修							
実施年月日	対象	参加 人数	研修内容（研修会名、講師の所属・氏名、ビデオ名等、 社外研修の場合は実施主体）	実施区分		実施場所	時間
				組織内	組織外		
7/5/2024	職員	7名	じんけん通信から差別解消法について知る	○		施設内	30分
10/11/2024	職員	7名	人権研修 利用児の呼称について考える	○		施設内	30分
12/6/2024	職員	7名	虐待防止・人権研修 資料を用意 グループワーク	○		施設内	60分
12/18/2024	職員	1名	障害者虐待防止・権利擁護		滋賀県	彦根	10-16
2/7/2024	職員	7名	障害者虐待防止・権利擁護	○		施設内	90分

※ 業務研修、接遇研修、人権・同和問題職場内研修、市主催の人権・同和問題研修への参加実績等を記載

【研修の実施状況に係る所見】

指定管理者の 所見	今年度は、特に虐待防止に関わる研修を増やし全職員対象に実施しました。 講義を聞くだけではなく問題提議をし、それぞれが意見を出し話し合う機会を設けました。
所管課の 所見	研修について、積極的に実施、参加できています。また、虐待防止をテーマに意見交換をするなど、深く理解しようとする姿勢がみられます。また、全職員が参加できていることも評価できます。

9. 外部評価	
手法	
実施時期	
評価結果	
評価結果に対する対応方針	

公表方法	

10. 所管課の総合評価

市内に民間の放課後等デイサービスの事業所が増えてきていますが、当該指定管理者が実施する放課後等デイサービスは、他の民間の事業所と比べて手厚い人員配置や経験豊富なスタッフによるきめ細やかな支援の提供が行われており、アンケート調査の結果でも利用児（保護者）の満足度も高い水準と言えます。新型コロナウイルス感染症の影響で減収した面はありますが、利用状況は徐々に回復しており、保護者も含めた手厚い支援が必要な児童生徒にとって必要な施設となっています。

※ 調査票（1）の各項目で、評価が「C」「D」のいずれかになったものについて、改善策を記入すること。

項 目	評価	現状及び改善策 （具体的にいつ、だれが、どうするのか）
収支等	C	想定よりも欠席などで延べ利用日数の減、また、新規利用も思うように伸びなかったため、予算通りのプラス決算にはなりませんでした。 関係機関への働きかけにより、新1年生など新規利用者が増えることと、令和6年度の国の報酬改定で、改定後の加算要件が整っていることから、収入増、収支は改善する見込みです。